



2025 年5月 15 日

各位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 杉山 悠
(コード番号:7707 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役付 小倉 武治
(TEL 047-303-4800 <https://www.pss.co.jp/>)

2025 年6月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2025 年2月 14 日に公表しました 2025 年6月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025 年6月期通期連結業績予想の修正について
(2024 年7月1日～2025 年6月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,619	△71	△74	△96	△3 円 50 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	4,619	△107	△133	△245	△8 円 84 銭
増 減 額 (B - A)	—	-35	-59	-149	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(参考)前期実績 2024 年6月期	3,979	△956	△1,010	△1,121	△40 円 59 銭

2. 2025 年 6 月期通期連結業績予想の修正理由について

前回発表時点の通期連結業績見通しに対し、当期第 3 四半期時点での見通しでは、当期純利益は、149 百万円の減益となる見込みです。

主な要因として、営業利益につきましては、前期以前にコロナ禍における需要を見越して製造された試薬および消耗品関連製品の使用期限を考慮した過剰在庫の評価見直しや、一部装置の終売対応に伴い、当期第 3 四半期累計期間までに 95 百万円の棚卸資産評価損を計上いたしました。本評価損は、今後の事業構造見直しに伴う在庫の適正化を目的として、計画的かつ早期に損失処理を行ったものです。

尚、売上高については、ELITechGroup 向けの OEM 製品を中心に、堅調に推移しており、前回発表時点からの変更はありません。

一方で、特別利益につきましては、連結除外に伴う連結子会社の純資産見積りに誤りがあったことから、関係会社株式売却益は、当初見込んでいた 60 百万円から 8 百万円へと修正いたしました。

さらに、特別損失として、2025 年 4 月 28 日付の開示にて公表した連結子会社におけるソフトウェアの不正使用に関連する対応費用として、54 百万円を計上した結果、当期純利益は前回予想を下回る見込みです。

当社グループは、今回の事態を真摯に受け止めており、再発防止に向け、外部専門家の助言をもとに、速やかに以下の対策に取り組み、ステークホルダーの皆様からの信頼回復に努めてまいります。

- ソフトウェアライセンス管理体制の見直し
- コンプライアンス教育の強化
- 内部統制体制の整備
- 内部監査機能の拡充
- グループガバナンスの強化

3. 第40期下期経営方針と取り組みについて

現状を踏まえ、当社は、第40期下期経営方針を下記の内容で策定しました。

「PSSはライフサイエンス・ヘルスケア事業において、ユニークなポジションを獲得し、成長に繋げる」

- ① 顧客の信頼に応え、高品質製品の安定供給義務責任を果たす。
 - ・効率的な事業運営により、営業黒字及び経常黒字を早期に定着させる。
 - ・当社製の装置、試薬、消耗品の品質向上とコスト低減を推進し、付加価値向上を追及する
- ② 汎用性の高い自動化プラットフォームを提供し、各種検査の精度向上とユーザビリティ向上に貢献する。
 - ・遺伝子検査向けプラットフォームを中心に高品質の製品とサービスを世界中に提供する。
 - ・強みである検査の自動化技術を用いた製品をより多くのお客様に提供する。
- ③ 持続可能な経営基盤の構築と、信頼される企業文化の醸成に取り組む。
 - ・ガバナンスの強化および内部統制の再構築を推進する。
 - ・法令遵守と倫理意識の徹底に加え、社内教育と情報管理体制の整備を継続的に実施する。
 - ・社会、環境、ステークホルダーとの持続可能な関係を重視したESG経営を推進し、企業価値の長期的向上を図る。

この経営方針に基づき、当社が開発し製造する装置、試薬、消耗品等の PSS プラットフォームを世界中のより多くのお客様に届けられるよう、新経営体制の下、各事業を迅速に推進してまいります。

短期間で黒字化を達成し、次の成長に繋げる準備として、当中期経営計画(2027年6月期迄)においては、売上および利益計画の必達、抜本的な事業再編によるコスト削減施策を実行してまいります。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上